麻雀を教えるとき用資料01

麻雀ってどんなゲーム？

ネット麻雀を1人で
打てるようになるまでを解説

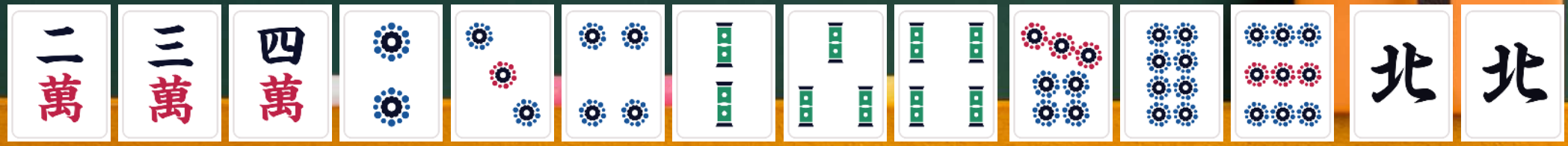
麻雀グッズ研究所
初心者講座

麻雀とは？ざっくりいうと・・

- 4人で行うゲーム（全員が敵）
- 34種類136枚の牌を用いて行う
- 14枚の手牌を3,3,3,3,2の組み合わせにしたらアガリ
- 牌を一番速くアガリの形にした人が点数をもらえる
- 親が２周するまで繰り返し、最終的に点数が多い人が勝ち

→次スライド以降で詳しく解説します！

麻雀グッズ研究所
初心者講座



こんな感じに整った形を目指していきます！

麻雀は手積み、自動卓、ネットがある

- 麻雀は、リアルで行う場合、ネット麻雀で行う場合で手順が違う
- リアル麻雀では、牌を積んだりの準備が必要
- ネット麻雀では、牌を選んで切るだけでよい。点数計算も不要

リアル麻雀↓

ネット麻雀↓

麻雀グッズ研究所
初心者講座

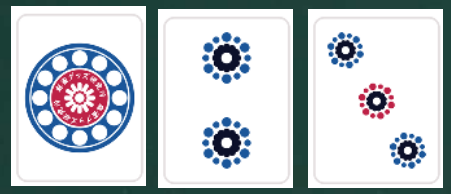
ネット麻雀は準備や点数計算などをCPUがやってくれるので初心者向け

麻雀は牌を用いて行う！

- 牌は全部で136枚を使う（ 34種類が各4枚ずつ）
- マンズ、ピンズ、ソウズ、字牌の４グループに分かれる
- マンズ、ピンズ、ソウズにはそれぞれ１～９がある
- 字牌は数字がない（それぞれ独立）

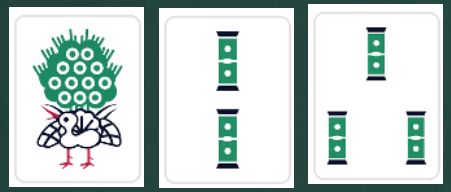
マンズ

漢数字で赤いやつ



ピンズ

丸くて青いやつ



ソウズ

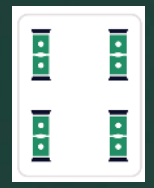
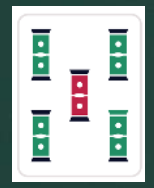
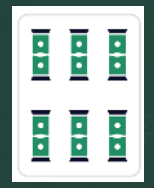
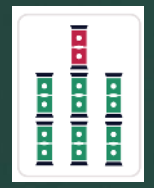
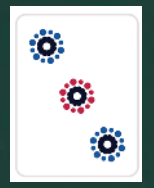
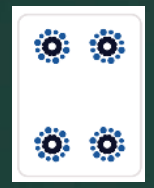
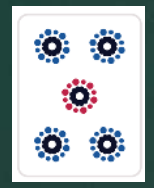
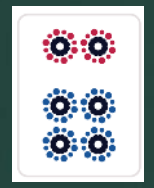
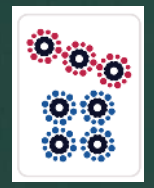
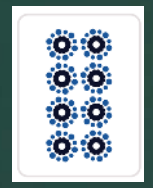
緑で竹っぽいやつ

字牌

漢字１文字
or何も書いてないやつ

麻雀グッズ研究所
初心者講座

麻雀は色と数で見分けよう！

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
赤がマンズ									
緑がソウズ									
青がピンズ									

字牌は漢字１文字で数字はない

トン　ナン　シャー　ペー　ハク　ハツ　チュン

↑何も書いてないこともある。

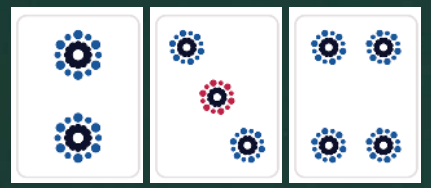
これは白（はく）という

麻雀グッズ研究所
初心者講座

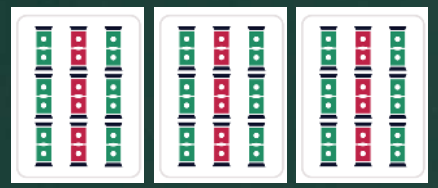
アガリの作り方の基本ルール

- 14枚を3,3,3,3,2の組み合わせにすることを目指す！
- 3枚セットは同じ色の階段状、または同じ牌3枚で作る
- 2枚セットは同じ牌2枚で作る
- NG例：違う色はだめ。912などもダメ。字牌は階段ダメ

1セット作る↓



同じ色の階段状3枚



同じ牌3枚

同じ牌2枚

↑ どちらかで↑
計4セット作る

OK

違う色はダメ！

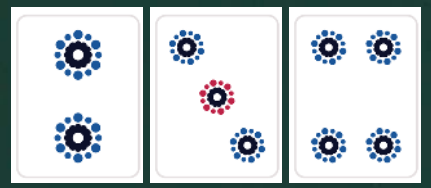
NG

字牌は階段ダメ！

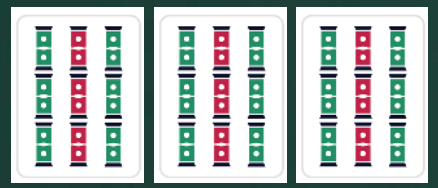
91で階段もダメ！

あと1枚になったらリーチ！

- あと1枚でアガリの状態になったらリーチをかける！
- リーチ後に誰かがアガリ牌を捨てるか、
  自分のターンに引いてくればOK



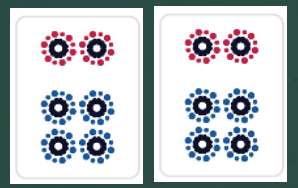
3枚セット



3枚セット

3枚セットが
あと1枚でできる！

3枚セット



2枚セット
（階段不可）

⇦どっちかがくれば、3,3,3,3,2の形が完成する！

麻雀グッズ研究所
初心者講座

アガリ牌が出たときの動きについて

- リーチ後、他の人から必要な牌が出た！→ロンという
- リーチ後、自分のターンに必要な牌を引いた！→ツモという
- 自分のすでに捨てている牌が待ちに含まれる場合、ロンが不可

麻雀グッズ研究所
初心者講座

ゲームだとボタンを押すだけ

左下に振り聴と出てる場合

自分の待ちの二萬を
すでに切ってしまって
いる！→フリテン

役について

- アガリの点数は役によって決まる
- アガリには役が１つ以上必要（形を整えるだけではだめ）
- 40個くらいあるが、とりあえず覚えるべきは３つだけ！

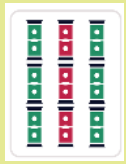
リーチ

あと1枚で上がりになったら
リーチを宣言して1,000点払う

その後、手は変えられない
鳴きNG

タンヤオ

2～8のみで手を作ると成立
1,9,字牌はだめ。鳴きOK



←だめ

役牌

字牌の白發中のいずれか、
あるいは場風か自風の字牌
を3枚集めると成立。鳴きOK

←3枚

補足：役牌になる字牌について

- 常に役がつく字牌と、タイミングによって役が付く字牌がある
- 白發中は３枚集めると常に役がつく
- 東南西北は場風か自風のとき役がつく

いつでも３枚集めると役がつく

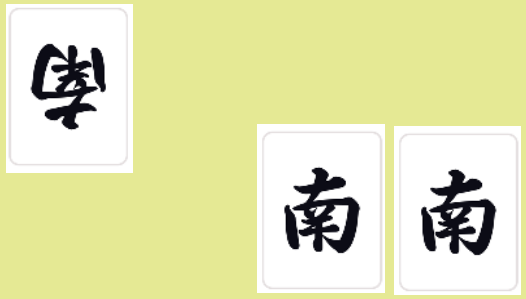
東●局のときは東が「場風」
自分は「北」の位置なので「北」が「自風」
→「東」と「北」は役牌（南と西はだめ）

人から牌をもらう技もある（鳴きという）

- 他の人の捨てた牌をもらうこともできる
- 前の人からのみできるチー、だれからでもできるポン
- 鳴きをするとリーチができなくなる
  （タンヤオや役牌を狙えない手で鳴くと詰むので注意）

麻雀グッズ研究所
初心者講座

ポン



同じ牌2枚を持ってて
誰かが捨てた3枚目をもらう

チー

階段状の2枚を持ってて
誰かが捨てた3枚目をもらう

カン

これはまだ覚えなくて良い

1回（局）が終わったときの動き方

- 誰かの上がり、または山札が残り14枚になったら終了
- 誰かの上がりのときは、アガリの形に応じた点数を支払う
- だれも上がれなかった場合は、「流局」となる
  （あと1枚で上がりだった人はちょっとだけ点数がもらえる）

アガリで終わるケース

誰も上がれず流局したケース

麻雀グッズ研究所
初心者講座

流局条件の補足

- 反時計回りに引いていき、山が残り１４枚になったら終わり
- ネット麻雀では１４枚を除き、残り山枚数のみで表示されることも

山ありパターン
残り14枚で流局

山省略パターン
残り０枚で流局

麻雀グッズ研究所

1回が終わったときの点数の動き方

- アガリの場合、
  自分のターンに引いてきた（ツモ）→みんなで割り勘
  誰かが捨てた牌で上がった（ロン）→その人が1人で払う
- 流局の場合
  あと1枚で上がりだった人（聴牌者）は手を開く
  →手を開けなかった人が規定の点数（3,000点）を割り勘

麻雀グッズ研究所
初心者講座

1回が終わったときの親の動き方

・親が上がるか流局で聴牌なら、もう1回その親のターンが続く。
　親以外が上がるか、流局時に親が聴牌でなければ次の親へ。

・親は反時計回りに移動
・東風戦は1周、半荘(東南)戦は2周
・東場（とんば）→南場（なんば）
・親がアガリor流局聴牌
　ならもう1回その人が親続行

麻雀グッズ研究所

最後にテクニック的な話

- 字牌は弱いので先に切る
- ３～７の牌は強いので残す
- タンヤオに寄せつつ、まずは２枚（３枚の種）を作る
- ２３、７８のような形は両方に手があるので優先で残す
- 役牌は出たら鳴こう（まずは白、發、中）

麻雀グッズ研究所
初心者講座

では、実際にやってみよう！

まずはゲームから始めるのがおすすめ！
（準備などをコンピューターが自動でやってくれるため）

雀魂（じゃんたま）がおすすめ！

麻雀グッズ研究所
初心者講座